

開 会

議 長（小林 洋君） おはようございます。

ただいまの出席議員は13名で定足数に達しておりますので、会議は成り立ちました。

開 議

議 長（小林 洋君） これより本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付いたしました議事日程第3号のとおりであります。

議事日程第3号により、議事を進めます。

日程第1 継続的な交流事業のあり方調査特別委員会委員長報告

議 長（小林 洋君） 日程第1、継続的な交流事業のあり方調査特別委員会委員長報告を議題といたします。

所管の委員長の報告を求めます。

継続的な交流事業のあり方調査特別委員会委員長茂木法志君。

（継続的な交流事業のあり方調査特別委員長 茂木法志君登壇）

継続的な交流事業のあり方調査特別委員長（茂木法志君） 継続的な交流事業のあり方調査特別委員会に付託されました教育分野における交流事業について、調査の経過並びに結果をご報告申し上げます。

本委員会は、令和7年1月31日から初回の委員会を開始、慎重に調査を重ねてまいりました。今回の調査は、みなかみ町における教育分野での交流事業の現状を把握し、青少年の視野拡大と地域交流促進、地域のニーズに基づいて、今後の持続可能な在り方を総合的に調査研究することによって、今後の発展継続に向け、事業の必要性を検証すること、また必要と考えられる場合には課題や改善策を提案することを目的といたしました。

調査内容は、台南市との中学生派遣事業及び奄美大島との青少年交流事業について、交流事業担当課へヒアリング、関係資料の確認、プログラム詳細の整理、過去の実績の収集、事業に参加した生徒や保護者へのヒアリングなど、様々な角度から意見を収集し、調査を実施いたしました。

まず、台南市との中学生派遣事業について。

平成25年に台南市と友好協定締結以降、継続的に中学生派遣を実施、令和6年には中学2年生34名と引率者7名が訪問し、現地中学校、市町村訪問などを通じて国際理解を深めてきました。事前学習では全6回の準備会を実施しております。そこでは英会話、文化背景の理解、マナー教育等を学習、現地交流では崇明国民中学校での校歌披露や民族楽器の演奏、また英語による学校紹介、それから市政府の訪問、また歴史文化など数々の場

所を見学など、多彩なプログラムを実施しております。

ヒアリング結果としては、交流事業に参加したことで台南市の歴史文化に触れ、文化の違いに気づき、知見が増えた。また、台南の中学生との交流で英語をはじめ、語学力のレベルに圧倒されたが、これからさらに語学を学びたいという気持ちにもなった。そして、将来、外国の人と関わる仕事に就きたいなど前向きな答えが返ってきました。このような内容から、生徒の国際感覚、異文化への理解向上が全生徒へ感じられました。

参加金額については、5万円という金額以上の貴重な機会となっている。一般の旅行では学べない機会でも、とても刺激になるなど、金額面に関して不満を持たれている印象はありませんでした。

ほかには、なぜ訪問派遣先が台南市なのか、この事業を知らない保護者もいる、この事業を後輩へ伝える機会があればいいと感じる、事前学習において会話のきっかけとなる学習があるとよい、現地での状況について、SNSを活用して発信をしているが、奄美の事業と同様にLINEグループでの情報共有も検討していただきたいなどの意見がありました。

次に、奄美大島との青少年交流事業について。

本事業は、平成12年から旧笠利町と旧新治村の相互発展の青少年育成を目指して開始されました。令和6年は5日間の日程で、奄美から7校で14名、みなかみ町から4校で14名の児童が参加しました。

奄美大島ではカヌーなどマリンスポーツや塩作り文化体験などを実施、みなかみ町ではスキー場でのウィンタースポーツなどを実施、それぞれホームステイにて交流を進めています。

ヒアリング結果としては、全く違う地域との交流により、自分が住む町のよさを再確認できた、互いの事業の実施期間が空くので、児童同士の会話が思うようにうまくいかなかった、LINE交換のおかげで児童、保護者同士も安心する要因となっている、事業に参加して帰ってきた後、子供の成長を感じた、また、ホームシックにかかる児童もいた、犬や猫のアレルギーの児童もいるため、ホームステイのペア選定が悩みなどの意見があり、事業年度を重ねるごとに課題や問題点について改善してきている、今後の児童の参加の体制維持は課題だが、総合的に自然や文化への理解が深まり、友好関係の強化が図れ、児童、保護者同士のきずなも深まっている、また奄美大島の担当者からは今後も本事業を継続し、発展していきたいという意見をいただいております。

調査の結果、みなかみ町の教育分野における交流事業には多くの利点があることを確認しました。両事業ともそれぞれの地域の特性を生かしたプログラムが参加者に好評となっている。しかし、共通の課題として、交流事業への参加の周知や交流先との事業が始まった経緯など、生徒だけではなく保護者への理解も深めるための情報共有が不足していると感じられる。また、継続発展する上で、事業効果の見える化や継続体制の確保、長期的な交流事業における財源の多様化も必要である。

奄美大島との交流事業では、今後、少子化による児童数の減少により、奄美大島とみなかみ町で参加を希望する児童数にばらつきが出てきている。本事業では基本、ペアになっ

た児童同士のご自宅へホームステイを行っているが、ホームステイの交流を通して得るものは多く、そのため、相互の参加人数によっては参加できない児童も多く出てくる懸念もあります。そのため、今後の地域連携の強化が課題として上げられます。

また、台南市との中学生派遣事業では、本事業をきっかけに参加した生徒の中から海外へ留学を決めた生徒も誕生しました。その成果を生かし、事前の体験談や事業後の生徒の感想など、交流事業へ参加していない生徒に対しても、交流事業の魅力や他文化を知る機会を設けることも必要であり、検討が必要であると思う。また、会話のきっかけを始めることが難しい生徒もいる。事前学習において、会話の話題設定や英語版の会話の要旨など、内容や準備段階での精査が必要である。

総合的に、両交流事業は青少年にとって貴重な異文化、自然体験の場となっており、地域連携、地域PRにおいても重要な役割を果たしている。また、両事業で得られる貴重な体験は未来を担う子供たちにとって大きな財産となる。今後は、課題を整理し、継続的で効果的な事業展開を図ることを望みます。

調査研究に協力いただきました委員会メンバーをはじめ、各関係者の方々に感謝を申し上げ、以上をもちまして本委員会の最終報告とさせていただきます。

議長（小林 洋君） 委員長の報告が終了しましたので、これより質疑に入ります。

委員長報告について、質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて委員長報告の質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

継続的な交流事業のあり方調査特別委員会については、本日をもって終了することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ご異議なしと認めます。

よって、継続的な交流事業のあり方調査特別委員会については、本日をもって終了いたしました。

日程第2 発議第3号 議員派遣の件について

議長（小林 洋君） 日程第2、発議第3号、議員派遣の件についてを議題といたします。

本件については、別紙のとおり議員派遣をすることにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ご異議なしと認めます。

よって、本件は、別紙のとおり議員派遣をすることに決定いたしました。

日程第3 陳情第3号 受験生への予防接種費用助成に関する陳情書

議長（小林 洋君） 日程第3、陳情第3号、受験生への予防接種費用助成に関する陳情書を議題といたします。

所管の委員長の審査結果報告を求めます。

総務文教厚生常任委員会委員長阿部清君。

（総務文教厚生常任委員長 阿部 清君登壇）

総務文教厚生常任委員長（阿部 清君） 総務文教厚生常任委員会に付託されました陳情第3号、受験生への予防接種費用助成に関する陳情書について、審査の経過と結果についてご報告申し上げます。

まず初めに、担当課より、県内の予防接種費用助成事業の実施状況の説明と、仮に当町で補助事業を行った場合の試算額の説明をいただいた後に、直ちに質疑に入り、委員からは、広域との足並みをそろえる期間も必要と思うが、町だけでやる姿勢は望めるのかとの問いに、必ずしも利根沼田管内の市町村が足並みをそろえなければならないことはない、単独でやっても問題ないと考えているとの回答であった。助成の財源について、健康関連の予算とか国の補助金の見込みはあるのかの問いに、国と県の助成はないとの回答であった。利根沼田の医師会の協力はどうなっているかの問いに、医師会も含めた会議で相談させていただき、お願いする形になっていくと思うとの回答であった。助成なり金額が進む中で、利根沼田で話合いが行われたかの問いには、管内でそういった話合いをしたことはない、ただ、大きい市は別として大体足並みがそろっているとの回答であった。医師会から足並みをそろえてくれという要望があったという説明を受けたが、どういった理由かの問いには、管内の病院から予防接種をした方の集計をして、各町村に振り分けて払うという業務をしているので、ばらばらだと集計が厄介なため、利根沼田管内で足並みをそろえてくれないかという要望があったとの回答でありました。

以上で質疑を終結し、続いて各委員から意見を聴取したところ、よりよい効果を発揮するためには、利根沼田一帯となって行ったほうがよいと思うので趣旨採択で。趣旨は理解できる。ただ、事務的な負担や連携を含めて考えると、趣旨採択でと思う。子育てしている方の負担を考えると、すぐにでもやっていただきたいと思うが、予算的にも趣旨採択で。大変いいことだと思うので、趣旨採択で。この陳情について、真っ向から反対するものではない。やはり、きちんとした枠組みをつくることも大事、そういったことを速やかに実行してもらえたらと思うので、趣旨採択で。広域との調整期間の必要は認めるが、調整がまとまらなかった場合には、町単独というその辺を勘案して、趣旨採択でとの意見でありました。

趣旨採択の意見より、趣旨採択に対する討論はなく、採決の結果、陳情第3号、受験生への予防接種費用助成に関する陳情書は、全会一致をもちまして、趣旨採択すべきものと決定されました。

以上、委員長報告といたします。

議長（小林 洋君） 委員長の審査結果報告が終了しましたので、これより質疑に入ります。

陳情第3号について、質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ありませんので、これにて陳情第3号の質疑を終結いたします。

これより、陳情第3号について討論に入ります。

本陳情に対する委員長報告は趣旨採択すべきものであります。まず、趣旨採択について、反対討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(小林 洋君) 次に、賛成討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ありませんので、これにて陳情第3号の討論を終結いたします。

陳情第3号、受験生への予防接種費用助成に関する陳情書を採決いたします。

本陳情に対する委員長報告は趣旨採択すべきものであります。

本陳情は、委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ご異議なしと認めます。

よって、陳情第3号、受験生への予防接種費用助成に関する陳情書は趣旨採択することと決定いたしました。

日程第4 議案第99号 令和7年度みなかみ町一般会計補正予算(第4号)について

議長(小林 洋君) 日程第4、議案第99号、令和7年度みなかみ町一般会計補正予算(第4号)について議題といたします。

本案につきましては、過日の本会議において提案理由の説明が終了しておりますので、直ちに質疑に入ります。

議案第99号について、質疑はありませんか。

高橋市郎君。

13番(高橋市郎君) 学校給食費について質問をしたいんですけども、先般、全協において、それなりの説明をお聞きはしましたけれども、新治調理場で今まで200食、月夜野で900食、それを合わせて1,100食という説明があったわけですけども、2つのいわゆる調理場を1つに集約するという事は、これはあくまでも経費の節減を目的というふうには私は理解するんですけども、新治の調理場においては、いはるこども園の以上児の調理は自園調理に来年からなるということ、それを踏まえて、いわゆる1,100食を調理するに当たって、今まで2つの調理場でやったのを1つに集約することによる経費の節減というものをどの程度試算をされているか、お尋ねをいたします。

議長(小林 洋君) 学校教育課長吉田君。

(学校教育課長 吉田武春君登壇)

学校教育課長(吉田武春君) 高橋市郎議員のご質問にお答えいたします。

今、当初予算書を確認させていただきますので、お時間いただければと思います。

議長（小林 洋君） 暫時休憩いたします。

（午前 9時18分 休憩）

※休憩中に答弁について確認がされた。

（午前 9時20分 再開）

議長（小林 洋君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

議長（小林 洋君） 学校教育課長。

（学校教育課長 吉田武春君登壇）

学校教育課長（吉田武春君） 失礼いたしました。

当初予算が6,572万5,000円ございまして、そちらの全部の費用が削減できるわけではないんですけれども、その費用の7割ぐらいができるかなと考えられるところでございます。

議長（小林 洋君） ほかにありませんか。

高橋市郎君。

13番（高橋市郎君） 今年度予算に対して7割程度ということでの回答ですけれども、いわゆる得をすることによる経費の節減というものに対しての試算というものははっきりしていないという、程度という大まかな概算と理解するわけですけれども、本来であるならば、統合することによって、委託料に対しては、幾ら削減できるという、そういう試算をきっちりして計画をつくるべきというのは当然じゃないかなと思うんですけれども、そういう試算はされなかったということですか。したけれども、大まかな数字としか出ていないということでしょうか。

議長（小林 洋君） 学校教育課長。

（学校教育課長 吉田武春君登壇）

学校教育課長（吉田武春君） ただいまの質問にお答えいたします。

大変申し訳ございません。具体的な試算につきましてはしてございません。今の一般予算を見させていただきまして回答をさせていただきました。

試算の理由といたしましては、まだ、新しくセンターに統合したときにどういう形で従業員の方を雇用したりだとかということは今詰めている最中でございますので、まだ試算していないというところでございます。申し訳ございません。

議長（小林 洋君） ほかに。

高橋市郎君。

13番（高橋市郎君） 今、来年度予算の入力が始まっているという話を聞くわけですけれども、委託する先に対してのいわゆる積算した見積りを取ってこれから予算要求をする段階だから、当然きちんとした数字が出てくるわけですよね。そういうものを本来なら、これだけの予算を使うんですから、これだけの経費節減ができますというのが出てきて初めてきちんとした提案の説明になるのかなと私は感じているわけです。

3回目の質問ですんでもう少し聞きたいんですけれども、月夜野の給食センターが中学

校の隣接で造られた。建設当時、もう25年も前の話をして申し訳ないんですけども、校舎のすぐそばであり、いわゆる排気の施設が3階よりも低かったために、臭いが3階にある、あそこは3階が1年生に、臭いが漂うという問題が指摘されたことがあるんですけども、今回、それは多分解消したかどうか記憶になくて申し訳ないんですけども、解消することはされたとは思っているんですけども、今回、今まで以上の多くの調理をするという状況において、そのことが再度問題になるようなことはないということによろしいのでしょうか。

議長（小林 洋君） 学校教育課長。

（学校教育課長 吉田武春君登壇）

学校教育課長（吉田武春君） 高橋市郎議員の質問にお答えします。

現在のところ、臭いの関係とかを聞いていることがございませんので、改修を行ったからといってそのお話が出てくるとは思っていないんですけども、現在のところ、当初あったというそのお話につきましては聞いておりません。

それと、先ほど、私のほうの答弁で、すみません、7割の削減というお話をしたんですけども、3割程度の削減になるかなと思います。7と3が反対でございます。

議長（小林 洋君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて議案第99号の質疑を終結いたします。

これより、議案第99号について討論に入ります。

まず、反対討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） 次に、賛成討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて議案第99号の討論を終結いたします。

議案第99号、令和7年度みなかみ町一般会計補正予算（第4号）についてを採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第99号、令和7年度みなかみ町一般会計補正予算（第4号）については原案のとおり可決されました。

日程第5 閉会中の継続審査・調査申出について

議長（小林 洋君） 日程第5、閉会中の継続審査・調査申出についてを議題といたします。

各委員会委員長より、各委員会において審査・調査中の事件につき、会議規則第75条の規定により、お手元に配付いたしました申出書のとおり、閉会中の継続審査・調査の

申出があります。

お諮りいたします。

各委員会委員長により申出のとおり、閉会中の継続審査・調査に付することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ご異議なしと認めます。

よって、申出のとおり閉会中の継続審査・調査に付することに決定いたしました。

日程第6 字句等の整理委任について

議長(小林 洋君) 日程第6、字句等の整理委任についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本議会で議決された案件について、その字句等の整理を要するものについては、会議規則第45条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ご異議なしと認めます。

よって、そのとおりに決定いたしました。

議長(小林 洋君) 以上で、本定例会に付議された案件の審議は全て終了いたしました。

町長閉会挨拶

議長(小林 洋君) 閉会に当たり、町長より挨拶の申出がありましたので、これを許可いたします。

町長阿部賢一君。

(町長 阿部賢一君登壇)

町長(阿部賢一君) 議長のお許しをいただきましたので、令和7年12月定例議会閉会に当たって、一言ご挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、慎重かつ活発な審議を重ね、上程いたしました全ての議案について議了を賜りましたことに心より感謝を申し上げます。町政運営を進める上で大きな支えとなるものであり、改めて深く感謝を申し上げます。

今年も残すところ僅かとなりました。振り返れば、行政を取り巻く環境は依然として厳しく、人口減少や地域経済の変動、災害への備えなど多くの課題に向き合う1年でありました。しかしながら、議会の皆様、そして町民の皆様の温かいご理解とご協力により、一つ一つ着実に事業を進めることができました。ここに重ねて感謝と御礼を申し上げます。

みなかみ町は、本年、誕生から20年という大きな節目を迎えました。これまでの歩みを支えてくださった先人の努力に敬意を表するとともに、私たちが次の時代へ向けて、よりよいまちづくりを推し進めていく責任を強く感じております。20年の歴史の上に、未来への新たな礎を築くため、今後も地域の活力の創出、子育てと福祉の充実、産業の振興、安心・安全な生活基盤の整備など、町の持続的発展に向けた施策を着実に執行してまいります。

来る年も、町民の皆様が誇りを持ち、安心して暮らせる町を実現するため、議会の皆様と力を合わせ、より一層取組を進める所存であります。これからも町民の皆様と共に町の未来を切り開き、さらなる発展に寄与できるよう、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

議員各位におかれましては、年の瀬を迎え、何かと慌ただしい日々が続いているものと存じますが、どうぞご自愛の上、輝かしい新年をお迎えくださいますよう心よりご祈念申し上げます。閉会に当たりましての挨拶といたします。どうも皆さん、ありがとうございました。

議長閉会挨拶

議長（小林 洋君） 閉会に当たりまして、私からも一言ご挨拶申し上げます。

会期中は、常に熱心な審議をいただくとともに、各委員会においても慎重審査に努めていただきました。結果、今定例会において予定されました案件全てを議了していただき、ただいまをもって無事閉会の運びとなりました。

今年も残すところあと僅かとなりましたが、各位におかれましては体調管理に十分留意され、輝かしい新年を迎えていただきたいと思います。

結びに、議員各位並びに町長をはじめ、当局の皆様方に感謝を申し上げ、閉会の挨拶といたします。

閉 会

議長（小林 洋君） これにて、令和7年第6回（12月）みなかみ町議会定例会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

（午前 9時33分 閉会）